

令和2年度 修了式 式 辞

「式辞」

正門脇の桜も、いよいよ花開く季節となりました。

今年度は、始まって2週間経過した 4月中旬から、33日間に及ぶ臨時休業と、それに続く 午前中授業などの 段階的な学校再開、そして、6月に 学校が全面再開されてからも、学校生活における 様々な制限や、部活動の大会の中止など、「コロナ禍」と呼ばれる 特別な1年となりました。

先ほど、それぞれの学年の代表生徒に 修了証書を手渡しましたが、その令和2年度が、本日 締めくくりの日を迎えます。困難な状況下ではありましたが、今年度の生徒の皆さん一人一人の頑張りを、心から讃えたいと思います。

まずは、1年生の皆さん、新たな環境の中で 希望と決意を持ってスタートした 中学校生活でしたが、開始早々に 学校に登校することができなくなり、先が見えない不安から、「よりによって どうして?..」と感じざるを得ないような、辛く 苦しい日々が続いたと思います。

しかし、学校再開後は、徐々に中学校の生活にも慣れ、先輩の姿を間近で見ながら、1年生らしい 明るさと

元気のよさで、学習に、部活動に、そして学校行事に、真剣かつ積極的に取り組み、1年間で 体もだいぶ大きくなりましたが、心もそれ以上に成長したと思います。

次に、2年生の皆さん、昨年度は突然の臨時休業で、このような形で 1年の締めくくりの日を 迎えることができませんでした。今年度は、今日を迎えられたことが、とても嬉しく、安心しています。

3年生が 先日卒業しましたが、皆さんは いよいよ名実共に、上遠野中の伝統を引き継ぎ、学校を支えていく学年です。既に 部活動においては、立派にその役割を果たしていますが、生徒会活動や学校行事においても、これまで先輩方が築いてきたものに、自分たちなりの発想や工夫を加え、更に充実したものを創り上げていくことを、期待しています。

来月には、後輩が入学してきます。皆さんが、明日からの春休みの中で、新たな学年に進級する「自覚」と「覚悟」を持ち、4月6日に 笑顔で会うことを楽しみに式辞といたします。

令和3年3月23日

いわき市立上遠野中学校長 西郡 美智広